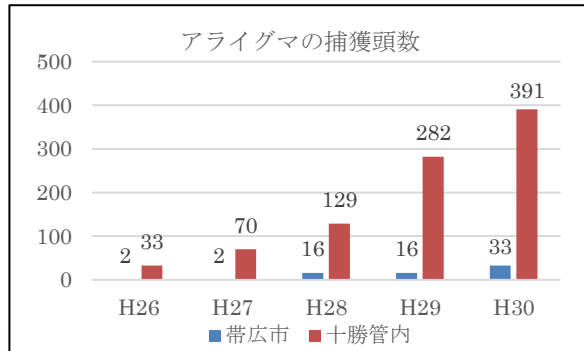


アライグマの被害が急増中！

道内全域に広がる被害

平成30年度における道内のアライグマ捕獲頭数は18,596頭。十勝管内では391頭が捕獲されており、増加傾向にあります。アライグマが増加するにつれ、問題になっているのが農作物の被害です。平成30年度のアライグマによる道内の農業被害額は約1億4,171万円といわれています。帯広市では繁殖期である春に集中的な防除を行っています。



農作物への被害



被害の約4割がスイートコーン。家畜の感染症を引き起こす可能性あり（サルモネラ等）。

生活への被害



家屋に侵入し、糞尿で汚す。感染症を引き起こす可能性あり（狂犬病、アライグマ回虫等）。

生態系への被害



希少な動植物を食べる、鳥の巣を襲う等。北海道には天敵となる動物はいない。



環境省提供



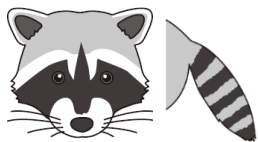
広野町で撮影されたアライグマの足跡。手足の長さは5～11cmほど。



トウモロコシの皮をむいて食べるのが特徴。スイカやメロンは小さな穴をあけてすくい出す。

アライグマとタヌキの見分け方

アライグマ

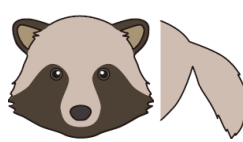


体長：40～60cm
 体重：3～10kg
 尾長：25～30cm
 特徴：尾が縞模様

夜行性。水辺を好む。人の手足のような足跡。



タヌキ



体長：50～60cm
 体重：3～5kg
 尾長：20cm以下
 特徴：足が黒い

全体的に茶色っぽい。足跡が2列に並ぶ。



農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」参考

アライグマに関するお問い合わせ

農業被害に関すること
 目撃情報、その他

帯広市農村振興課
 帯広市環境課

0155-65-4173
 0155-65-4136